



鶉小だより

ゆたかで たくましい 鶉の子

令和7年2月4日

岐阜市立鶉小学校

PTA主催行事「演劇ワークショップ」

1月17日（金）、4年ぶりにPTA主催行事が行われました。「演劇ワークショップ」を行ったのは、演劇コンクールで何度も入賞をしている、愛知県の誠信高等学校演劇部のみなさんです。高校生が目標に向かって努力する姿を見ることで、子どもたちが夢や目標の実現について考えることができるようにという願いから企画されました。

低・中学年は、「演劇体験」、「照明・音響体験」を、高学年は全員で「演劇鑑賞会」を行った後、「役者体験」か「照明・音響体験」かに分かれて体験活動をしました。「演劇体験」の1つ「なりきり全力じゃんけん」では、お姫様役か王子様役かを選択してなりきり、じゃんけんの勝ち負けを全身を使って全力で表現して大盛り上がりでした。「照明体験」では、照明には色々な種類があり、その効果も様々であることを、点滅する照明の光の中を走ったり、舞台上の役者に照明を当てて舞台上の雰囲気づくりをしたりすることで体験しました。「音響体験」では、音響装置で効果音を出すと、舞台上の役者がそれにぴったり合わせた動きをすることに大盛り上がり。次々と効果音を出しながら、効果音の役割を考えたり、役者の対応力・表現力のすばらしさに感動したりしていました。「スモーク体験」では、薄暗くスモークが満ちた空間でのスモークの不思議な流れ方やレーザーの光の見え方の違いを体験しました。高学年での「演劇鑑賞会」では「終点のあの子～フォーゲットミー、ノットブルー～」を観劇しました。高校生のいじめを題材にしたもので、内容は少し難しかったのですが、事前に演劇部のみなさんが作成・配付してくださったプリントをもとに一生懸命観ながら考える姿が、さすが高学年でした。

演劇には「役者」だけではなく「照明」「音響」など様々な仕事があることや、それらの技術や効果について知ることができるなど、「職業」という視点から学ぶことができました。また、身近な存在である「高校生」が、目の前で一生懸命に教えたり演じたりする姿に「すごいなあ。」「かっこいいなあ」とあこがれたり、自分だったらと重ね合わせて考えたりすることにもつながった一日でした。



- ・スモークは、けむりの外ではレーザーが見えなくて、けむりの中に入ったら見えることにびっくりしました。
- ・知らない遊びをととても分かりやすく説明してくれたからうれしかったです。
- ・こういう演劇を今まで見たことがなかったけれど、ほかの演劇をもっと見てみたいと思いました。

餅つき体験（5年生）

1月16日（木）の総合的な学習の時間に餅つき体験を行いました。12月のしめ縄体験でもお世話になった、鶉青少年育成市民会議の皆様が中心となり、PTA本部役員の方、5年生役員の方のご協力も得て、4年ぶりの実施となりました。杵と臼での餅つきの仕方を、実演も交えて教えていただき、その後、一人ひとり順番に、学級で掛け声を合わせながら餅をつきました。慣れないながらも、杵をしっかりと握って餅をつくことができました。最後はお餅の試食。3つの味があり、好みに合わせて食べました。人気の味は学級によって様々。どの学級でも、嬉しそうにお餅をほおぼる姿が多く見られました。日本の伝統文化を学びながらの楽しくおいしい時間となりました。

・初めてつきたてのおもちを食べたけれど、とてももちもちでほんのりあたたかみがあっておいしかったです。



あすチャレ！（4年生）

1月9日（木）、パラアスリートから学ぶ「あすチャレ！スクール」教育プログラムに参加し学習しました。講師は、車いすバスケットボールのパラアスリート、神保康広さんです。まず、神保さんの明るい話し方に引き込まれた子どもたち。その後の車いすバスケットボール用の車いすでの神保さんの俊敏な動きに、子どもたちからは歓声が上りました。

代表の子どもたちや先生たちによる車いすバスケットボールの体験会をしたり、神保さんが経験してきた夢や目標をもつ価値と重要性についての話を聞いたりなどすることで、障がいの有無に関係なく、勇気を持って挑戦することの大切さについて考えることができました。

